813
1

赦帳

九十六

国立国会図書館　タイトル『赦帳』　請求記号 813-1

ガラス使用

35.7.22

国立国会図書館　タイトル『赦帳』　請求記号 813-1

ガラス使用

赦帳

八之百三　第六棚

九十六

813
109
1

国立国会図書館　タイトル『赦帳』　請求記号 813-1

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『赦帳』　請求記号 813-1

ガラス使用

十八ノ下

宝暦二申年六月於東叡山
有徳院様一回御忌御法事ニ付
御吟味落着之者ニ而御赦被仰渡候
者左名前

国立国会図書館　タイトル『赦帳』 請求記号 813-1
ガラス使用

十八ノ下

宝暦二申年六月於東叡山
有徳院様一周忌御法事ニ付
御帳面落候者之内御赦之伺済候
者共名前

安永二巳年改

此帳面之人別より法之赦帳御免并ニ不都書之外、并
なと帳寄合之組合御免之分書出遣候之分は右之但し
金より御赦帳之外ニ御座候ニ而右之頭書ハ人別ニ写し候

国立国会図書館　タイトル『赦帳』 請求記号 813-1
ガラス使用

小網町八右衛門店ニ在馬喰忰

元文五申年十月
一 所払

同町同人店
久右衛門

茂右衛門

寛保元酉年十月七日
一 中追放

小網町
網八

一 寛保二戌年九月十二日
所払
本材木町三丁目徳兵衛店
乾兵衛

一 寛保三亥年四月五日
入墨之上中追放
青山久保町源右衛門店
吉右衛門弟子
権七

一 寛保三亥年四月八日
家財取上所払
元乗物町[illegible]店
紺右衛門

一 寛保三亥年七月六日
所払
神田久右衛門町源兵衛店
庄右衛門

一 寛保三亥年八月十八日
中追放
桜田備前町喜右衛門店
源右衛門弟子
久保連八

一 延享元子年六月十日
所払
神田仲町壱丁目吉六店
半七兄
七兵衛

国立国会図書館　タイトル『赦帳』　請求記号 813-1
ガラス使用

一 延享元子年九月廿六日
敲之上江戸払
馬喰町弐丁目久右衛門店
市右衛門

一 延享元子年九月廿六日
江戸払
福井町壱丁目治右衛門店
源右衛門

一 延享二丑年九月六日
敲之上所払
桜田鍛冶町又右衛門店
長右衛門出居衆
長五郎

一 延享二丑年九月六日
敲之上所払
桜田和泉町伝六店
七右衛門
同町長右衛門店
小八
同人店
仁右衛門

一 延享二丑年九月廿三日
所払
東本石町弐丁目
市兵衛店
権四郎

一 延享三寅年正月廿七日
敲之上所払
南鍋町吉兵衛店
大工長九郎悴
長八

一 延享三寅年七月廿日
所払
皆川町弐丁目茂八店
長十郎

一 延享三寅年八月七日
中追放
数寄屋橋八官町浪人
栗原山楽

一 延享三寅年十一月四日
敲之上所払
本芝下町源兵衛店
宇右衛
右宇右衛出居候
源兵衛

国立国会図書館　タイトル『赦帳』　請求記号 813-1
ガラス使用

一 延享三寅年十二月十六日
所払
南伝馬町甚八店
茂右衛門

一 延享三寅年十二月十八日
入墨之上江戸払
富松町勘七店
拾六番組人宿
伝九郎

一 延享四卯年三月廿六日
江戸払
下槙町五郎兵衛店
茂兵衛

元乗物町甚右衛門店
久兵衛方ニ居候
平七

本銀町三丁目伊右衛門店
五郎兵衛倅
四郎兵衛

一 延享四卯年八月七日
入墨之上江戸払
神田鍋町伝右衛門店
喜平次方ニ居候
長八

神田小泉町二丁目
庄右衛門店
次兵衛

同所鍋町
伊右衛門店
伊三郎

青山浅河町
家主三郎兵衛忰
三次郎

一 延享四卯年十月十二日
入墨之上江戸払

同所本千人町
宇兵衛店
紀兵衛忰
忠右衛門

右忠右衛門兄
紀兵衛

一 延享四卯年十月十九日
所払

青山町
孫兵衛店
忠右衛門

右忠右衛門忰
忠

一 延享四卯年十月廿六日
入墨之上江戸払
小石川中嶋若宮町三右衛門店
喜兵衛伜
次郎兵衛

同町治兵衛店忠勘右衛門方ニ居候
友八

一 延享四卯年十二月廿六日
江戸払
神田明神下同朋町
治兵衛店
庄三郎

一 延享四卯年十二月廿七日
追放
浅草福井町壱丁目
喜兵衛店権兵衛娘
きて

本湊町長右衛門店
吉兵衛方ニ居候
四郎兵衛

一 延享五辰年十二月五日
入墨之上江戸払
佐内町次郎右衛門店
治兵衛方ニ居候
新助

国立国会図書館　タイトル『赦帳』　請求記号 813-1
ガラス使用

新両替町四丁目平三郎店
小兵衛召仕
長兵衛

一 延享五辰年二月廿六日
所払
神田富山町市郎兵衛店
治兵衛

一 延享五辰年四月廿二日
江戸払
深川黒江町与兵衛店
喜平次

一 延享五辰年四月廿三日
追放
南馬町七郎兵衛店
四番組人宿
清助

一 延享五辰年四月廿三日
追放
通町治兵衛店
六番組人宿
半六

一 延享五辰年四月廿三日
所払
牛込原町壱丁目番人
次郎兵衛

国立国会図書館　タイトル『赦帳』　請求記号 813-1
ガラス使用

一 延享五辰年五月十二日
追放
南小田原町弐丁目家主
喜兵衛

一 延享五辰年五月十二日
追放
南小田原町弐丁目喜兵衛店
権七出居候
権助

一 延享五辰年五月十八日
所払
南小田原町壱丁目善右衛門店
長右衛門方居候
吉右衛門

一 延享五辰年七月朔日
所払
南紺屋町権兵衛
弓町喜兵衛店
清四郎出居候
又次

一 寛延元辰年八月十六日
江戸払
畳町壱丁目佐右衛門店
権平同居之者
長右衛門

一 寛延元辰年八月十二日
　江戸払

呉岸四日市町
　家主小兵衛召仕
　　吉助

同本白銀町長兵衛店
　若六召仕
　　三助

右之者共宝暦二申年六月於東叡山
有徳院様一回御忌御法事ニ付御赦ニ
同三酉年七月六日　御免之御沙汰ニ

国立国会図書館　タイトル『赦帳』　請求記号 813-1
ガラス使用

九

五十二月

国立国会図書館　タイトル『赦帳』　請求記号 813-1

ガラス使用

徳院様一回御忌

寛延二年

2

九

五十二月

人別帳

国立国会図書館　タイトル『赦帳』　請求記号 813-1

ガラス使用

神田九軒町元家主
亀屋　八公清

一　追放御免之義

此者儀先年亀屋方ニ而代々召使候者之引合年来
御亀屋古来之実ハ孫ニ而早速遣揚之調ニ付
御亀屋方役人衆被致払欲ニ付此度不便ニ付

入墨之上中追放可有之処　然処延享四
卯年八月十二日入墨之上中追放ニ申付候
此度御赦免願候ニ付
是者御赦之難被成者ニ候

寛延三午年十二月　未赦出
同　四未年　六月　未赦出
此度　未赦出
右三度赦帳ニ除申候

本郷三町目古居屋鋪
宇兵衛店
酒屋
茂兵衛　赦免
よ代　赦免
子七

一 江戸構右免之者
此者共義小笠原采女家来高須次利兵衛

中宿枚平村宗介儀兄喜蔵御石川祐助
并宿村喜助盗ニ入候得共不盗取候ニ付取押候も不紀
儀物ニ入候而去ル右儀物取集ニ相成候儀を
先方ニ而も品々為相知申合者有之候ニ
申付置候儀を不遂相糺ニ相通候小村
盗人喜助儀取り紛り候段及旅割重ニ可申人
宿郡も入不申有合候方利を枚平村名主ニ下ニ

押置候所右喜蔵ハ右を不申出盗人ニ相立
取り置候外利を是又押置宗助ニ右
利喜蔵盗人之儀中段旅籠屋不届ニ付
寛政元酉年十月十六日敲之上
喜蔵ハ江戸構申七蔵ハ江戸構申付候処
此度御赦免被仰付候
寛政八年辰十月赦ニ付御赦免被仰渡候

国立国会図書館　タイトル『赦帳』　請求記号 813-1
ガラス使用

寛延三午年四月　東叡山
同四未年　六月　東叡山
此度　東叡山
右両度赦帳ニ附ル

一 所払御免之者
下谷通新町町医師
上田玄京
此者儀去ル未年六月
有徳院様御葬送御法事之御赦ニ
御免被 仰付

一 追放御免之者
東海道品川宿元問屋
助左衛門
同所元本陣
六左衛門
同所請負人
喜兵衛
此者儀朝鮮人来朝之節荷鞍飼料請

請負仕候処讃岐屋喜三郎与申者代〻之者木津屋文節(?)
仕申所預証文合指出ニ付右之段不届ニ付三人之者
軽追放ニ申付置候処　御赦寛延元辰年
十二月廿日三人之者軽追放申付候以来　村役(?)
御赦免願仕候
是迄御赦ニ難成者右之通ニ御座候

寛延三午年正月
東叡山

村役(?)
右三人之者赦帳ニ附申候
東叡山

一　追放ニ付赦免之事

同岩(?)悪所元家主　権(?)七

赦帳ニハ同岩(?)悪所元家主と有之候(?)

村役(?)人并親類(?)共ニ付[illegible]願書(?)付
請負仕候処讃岐屋喜三郎与申者代〻之者木倉(?)文節(?)

寛延二年辛巳月

寺蔵山

時度

寺蔵

国立国会図書館　タイトル『赦帳』　請求記号 813-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『赦帳』　請求記号 813-1

ガラス使用

是ハ年数も相立候ニ付御免之儀可被仰付哉奉伺候

寛延三午年四月 日 赦免之
同未年六月 日 赦免之
付札 右之者赦帳ニ附出 赦免之

一 追放御免之願

佐渡国之鴻宿元名主
宗太郎

此者義箱根坂道ニ御関所除候女召連
御代官遠藤六郎左衛門手代木下今兵衛
組中間大介と申者破船荷物盗取候
品ニ付而召分之与申者坂道御関所除
其外見届候而ニ付追放ニ申付候後
不届ニ付重追放申付置候 佐渡
寛延元辰年十二月廿七日ニ重追放申付

国立国会図書館　タイトル『赦帳』　請求記号 813-1

ガラス使用

相渡候ハ宿中ニ付不審成義無之候得共在勤
定所ニも不相届其分ニ差置紛過出付ニ
段加判ハ殊不届ニ付父庄兵衛方江差遣之
継母の訴　仰付此者義江戸構申付置
訴　御渡延享三寅年四月廿日江戸構
申付候処此度御赦免被仰付候
是迄御預ケ雑賀屋名主方ニ在候

延享五辰年四月
寛延三午年四月
同四未年六月
此度
右之度赦帳ニ除ル

増之分
東之蔵より
東蔵より
東蔵より

一　江戸拾里構之免之赦

小普請組能勢数右衛門組
元支配
原　八郎

此者義去享保八卯年九月廿三日雑司ヶ谷

国立国会図書館　タイトル『赦帳』　請求記号 813-1

ガラス使用

同十九寅年十月　摂津守
元文三午年四月　摂津守
延享五辰年四月　摂津守
寛延二巳年四月　東叡山
同四未年　六月　東叡山
此度　東叡山
右摂津守殿赦帳ニ有之

一　追放御免之帳

竹中周防守元家来
石倉与太郎
寒川縫太郎

此者共儀ハ主人用金有之為与候
中所人家出儀周防守組下取之節
有之右取之儀ニ付不届ニ付御免之事

国立国会図書館　タイトル『赦帳』　請求記号 813-1

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『赦帳』　請求記号 813-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『赦帳』　請求記号 813-1

ガラス使用

一 追放御免之儀

下谷諏訪町所
家主小三郎方ニ居候
与七

此者儀無宿者共と致宿、無宿共同道ニ而
銀之盗取を拾ひ、無宿共打渡シ売払候
配分ニ預候上、右品共其外之分ニ預候
渡シ候段、雑司谷町浪人方ニ売遣シ
候者幾重売払候、右様之致拾ひ物不
許ニ而無宿者を宿候段
不届ニ付江戸十里四方追放申付置候
所、其後寛延二巳年十二月十八日
江戸十里四方追放中ニ付此度御赦
免被仰付候

国立国会図書館　タイトル『赦帳』　請求記号 813-1

ガラス使用

いたし候もの江申付置候處其者又人商売之
古着之儀ニ候へ者京都ニ而右者内江
相渡候段不届至極ニ付死罪被仰付候処
御仕置申付候処右者内ニ而見廻りいたし候ニ付
無之病難之趣ニ付右之存自分之儀
用ニ付右被申付候中追放申付候処
被渡寛延二巳年十二月廿九日中追放

中村之外此度御赦免被仰付
是ハ御赦之難有奉存候

寛延四未年六月　本多（印）
此度　（印）
右五度赦帳ニ附出

御書院番頭
室賀下総守組同心
長崎御風地借り
浪人

赦帳ニモ大久保
東村浪人ト
在之候

青木喜内

一 追放御免之者

右者儀御書院番室賀下総守組与力
振人ニ紛浪人福嶋文治と申浪人伴参
申合右者ニ而花岩坂岩駒込方ニさ若
年之者ニ而小吉と申風ノゟ申者ニ年ニ
揃同原合勘定遠方ニ致し候
駒込住居ニ申立事六ヶ年中掛ケ右合
置所利安年識ニ成候右為世話料
合其者分振人ニ分分黄文以後

畢竟札令為もれ申出候ニ付同前之趣を
助役ニ相掛り右之者ニ付寛延元辰年
冬十月十八日御追放申付候処此度赦免
被仰付候

但赦帳ニハ出稼ニ付在之候
是ハ御納経相勤候者ニ付赦免候

寛延四未年六月
東藏公

付居
右者赦帳ニ記不在
東藏公

一 御免之赦

弓町家所ニ同
右同店
十太郎

此者儀去ル未年六月
有徳院様御葬送御法事之御赦
御免被 仰付候

国立国会図書館　タイトル『赦帳』　請求記号 813-1
ガラス使用

一　江戸構ニ而御免之科

深川永松町弐丁目
嘉兵衛店
忠兵衛

此者儀去ル未年六月
有徳院様御葬送御法事之御赦ニ
御免被　江戸払ニ

一　追放ニ而御免之科

下谷山伏町半七店
粂兵衛

此者儀先年所々奉公相勤居候処
病気ニ付而暇相願中渡ニ而後所之
成売女之所望致渡世ニ新吉原
並ニ堀女等之人之請立ニ而は難書

国立国会図書館　タイトル『赦帳』　請求記号 813-1
ガラス使用

儀ニ而隠賣女之請人ニ入立ニ相立候處
右賣女請人仲ヶ間之者共此者を慕
間合候得ハ節々相續之かり物致させ
義も有之旁ニ右等之義候得ハ服方
組付之も相勤御法度之義取扱ニ
不届ニ付中追放申付旨被　仰渡
寛保三亥年十月十二日中追放申付ル

此度御赦免被仰付候

是ハ御赦難成者ニ候

延享二丑年二月　東叡山
寛延四未年六月　東叡山
此度　東叡山
右三度赦帳ニ而申出

一 追放御免之部

神田岩本町
又太郎店
茂助

赦帳ニ麻布市兵衛町
佐兵衛店若八之伜
茂助

此者儀麻布市兵衛町佐兵衛店若八
伜ニ而親之主人娘ちよと夫婦之
約束致候ニ付右ちよ申合其上右ちよと
申合主人之金子并女房衣類八品
為盗出右ちよと一所ニ立退右又太郎
店ニ罷在候處主人兄弟見付召捕可申
旨申聞候ニ付絶右ちよ逃去り右金
之間ニ金子又衣類等相渡右相渡
右ちよニ衣類取持又之議(?)右
二可致申出候得共不届ニ付重キ追放

国立国会図書館　タイトル『赦帳』　請求記号 813-1

ガラス使用

一 追放御免之輩

小大門町平八店
治兵衛
治兵衛下人
半六
茂兵衛

此者儀松平宗女之従士黒田太左衛門
候舟侍屋敷戸を蹴放シ此者酒狂ニ而
此者宮之メ相成候ニ付猶又八幡屋ニも彼方
下羽之紙ニ差添ニ棒を持参帯居ニ
大小を理ニ置ニ而差入侍を荒縄ニ而
縛り候之妻ニ付諸方ニ付ハ文太左衛門
侍屋敷戸を蹴破り刀を振廻シ候旨申ニ付
有之走込候中ハ右指候之者ニも相縛り

一 両人之義ハ具々之れ梅徳之義候
於武家之家来ニ対シ理不尽之法外之
仕形不届ニ付、治兵衛者重追放、中六
蔵兵衛者軽追放可申付前以　御赦
寛延元辰年十二月治兵衛者重キ
追放中六蔵兵衛者軽追放中外ニ付
此度御赦免被仰付

是ハ御赦免難成者ニ付除之

寛延四未年六月　東叡山
此度
右者度々赦帳ニ除申候　東叡山

今岡寺安永元辰年死罪相当候
本多兆太馬

一
追放ニ処之科

此者共ハ梅月も両人之浪人大橋左門娘を

国立国会図書館　タイトル『赦帳』　請求記号 813-1

ガラス使用

一 霊ニ付御免之部

木挽町三丁目
元地主
安三郎

此者儀去ル未年六月
有徳院様御葬送御法事之節
御免被 仰付

一 追放御免之部

御留守居支配[illegible]組
元番松本重太夫悴
松本清太夫

此者父重太夫儀御預ケ人之召仕合御
法度相背候ニ付みかへ之儀ニ付揚屋ニ而
武蔵[illegible]石流之勝負頭ニ而越

第八者之儀者組頭令申合年来之處
妻新右衛門被還賣買且又者通之判形
借受金有之人足請負人与り毎月相渡候
金子并毎日人足を請取人へ用立置候
金子之儀者自分方住宅を抱置候處之方
棟梁并御用之御用所人令相渡候
金子被受納取候役勤操 公儀被

虚妄以申付御座候小屋惣代猶又被成
自然之申へ之見段ニ付甚不届 諸事
不法ニ相成以後申之縁無之候 右之
被為申以後も在之候之始末不届至極
不埒遠慮申付前候 然處延享二
卯年十二月二日当人者ニ八丈嶋江流罪被
申付候処十以後御赦免被仰付

国立国会図書館　タイトル『赦帳』　請求記号 813-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『赦帳』　請求記号 813-1

ガラス使用

行町源兵衛前借相果候ニ付看病致候ハ
方ニ罷在源兵衛義困窮致候ニ付諸事合力致方
方ニ被仰付候処今ゟ致養育忠小
相返以後ニ茂渡世候者餘沢若養之言
追而差出候ハヽ可申聞儀代り右
源兵衛親子会以後毎々合子返済之段
痛入候得共中御掛り候ニ付筋之儀源兵衛
女房兵衛代り候も合力致呉候ニ付相済
離候段諸道前借相果候ニ付女ニ
身分ニ而右様之儀致し候別段不届ニ
付取ニ申付遠嶋申付有之　寛延
戊巳年四月六日八丈嶋江流罪申付
此度御赦免相成候
是ハ御赦之趣被為者ニ候段

国立国会図書館　タイトル『赦帳』　請求記号 813-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『赦帳』　請求記号 813-1

ガラス使用

川口町三太郎伊申有之候段令吟味候処
不届ニ付遠嶋申付置候　依之延享
四卯年十二月二日之宅遠嶋ニ流罪中ニ付候
此度御赦免願候已文下人小兵衛共
相願七郎兵衛二而御詮議之上越候此者共も
同様ニ付以後ニ付下置候間ニ相願申候
是ハ八年以前申年御赦免被仰渡候之処生存

延享五辰年四月　增上寺
寛延三午年四月　東叡山
同　四未年　六月　東叡山
此度　右四度赦帳ニ相除申候　東叡山

本湊町壱丁目六太郎店
浪人
坂倉勝太郎

一　遠嶋之節
此者儀武家方ニ而利合貸附

国立国会図書館　タイトル『赦帳』 請求記号 813-1

ガラス使用

一 流罪免之叙

神田小柳町弐丁目
忠兵衛店重兵衛女房
ふさ

赦帳ニハ神田小柳町弐丁目
忠三郎店又三郎女房ト有之

此者義悴平次郎を叱候処悪口申候ニ付憤恚
難成平次郎肩ニ有合候鋏を投付候を
押候様を〆候ニ付鼻を両手ニ而満ニ候処
相果候ニ付取糺候処右平次郎中風之気分ニ而
有之ニ付発狂致候哉ニ茂相見申候ニ付、史ニ申渡候
方儀ハ有之候得共至而悪成義継子之事ニ
候得者別而不仁之取計仕候ニ付遠島可
申付旨之処、寛延二巳年四月
六日御赦ニ流罪中ニ付候処、此度御赦
免被仕候

国立国会図書館　タイトル『赦帳』　請求記号 813-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『赦帳』　請求記号 813-1

ガラス使用

右書入之儀今又ハ白紙ニ認之札差出候
不届之趣ニ付遠慮申付有之候處
延享五辰年五月廿二日新潟ニ流罪
申付候処此度御赦免被仰付
是ハ年数も相立候ニ付出家ニ而可致住持

延享五辰年四月　撰之
寛延二巳年四月　東叡山
同　四年三月　東叡山
此度
右者赦帳ニ載申候　東叡山

松屋町藤兵衛店
源七

一　湯屋免之訳
此者茂兵衛町浅草相州八幡寺寮へ宿
いたし宿賃ニ於ても自分之咎

国立国会図書館　タイトル『赦帳』　請求記号 813-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『赦帳』　請求記号 813-1

ガラス使用

菓子を商人ニ売払候処菓子売買
合不足之儀候を却而致打擲候ニ付
水茶屋若者共小供等を人ニ入川分ケ
一旦事済候処此者常々致兼候段
之儀ニ付右之小供与致口論候者服
指を突致候を此小供方合悪口申
掛ケ候儀ニ付候処元来右様之人ニ

不似合衣服を致着甚上過奢之
菓子を売払候得共猶又候を却而致
打擲候而事起又候小供等を及口論
剥小供を殺候段理不尽之仕形
不届ニ付遠島申付候処　御慶
寛延二巳年十月六日三宅島江流
罪中付候処此度御赦免被仰付候

是者去ル御赦ニ罷成者ニ御座候

寛延三午年四月　東叡山

同　宝暦元未年六月　東叡山

同断　東叡山

右二度赦帳ニ附申候

一　改易御免之願

元中奥御番

加藤吉三郎忰

此者儀親類頭先ゟ不残義役目父母

病気之節御書院番大津又右衛門

養子ニ罷成候ニ付元父新十郎離別

之儀ニ付先一旦母事手前江引取入置

去ル親書以生写仕候之礼宜

義不束成ニ付其上家督ニ相

成候処頃も小普請組加藤安之助支配

差置候処不埒ニ付改易ニ申付置

一　佐渡　延享四卯年四月十二日

於島中身死候　佐渡ニ而赦免被仰付

是者御赦ニ難成者ニ而候

寛延四未年六月　東叡山

此度　東叡山

右之者度赦帳ニ所出

打木周防守組元小普請

一　於島病死之節　小林作平

赦帳ニハ三宅島与有之

三宅打本和泉守

出死之侭之

此者儀石丸左蔵屋敷之浪人者を養

中募難義ニ而切殺中候ニ付

源助と申者云者一向聞不申候ニ付

中達座候末之源助相果申候儀

中川越前守改易申付前記
佐渡享保二酉年十二月廿七日改易
中務少輔此度御赦免仕候
是者御赦ニ罷成者ニ御座候

享保三戌年十月　増上寺
同　五子年十月　東叡山
同　七寅年十月　増上寺
同　九辰年十月　増上寺

同年　十一月　東叡山
同　十四酉年十月　増上寺
同　十九寅年十月　増上寺
元文二巳年十月　増上寺
同　五申年十月　東叡山
寛保二戌年四月　増上寺
延享二丑年十月　増上寺
同　五辰年四月　増上寺
寛延四未年六月　東叡山
此度　東叡山
右播磨殿被掛ニ成候

神田鍋町三丁目代地
元家主　八兵衛

一　取上ケ而屋鋪候
此者儀浪人松本文兵衛江申含
之儀右浪邑元用ひ金子不残貸遣し
不埒之義ニ而右神之義ハ名主を
中出右之儀ハ不調法ニ付右之義不宜
不届至極元文三年寅三月十二日・家
屋鋪取上中追放ニ付　御仕付ニ而寛
保二戌年巳月増上寺御法事
ニ御赦ニ追放赦免ニ付　御仕付ニ而候
ニ付此度右之　右之上ニ而地面ニ付下受候ニ
相成　中略
右屋鋪外江相渡り難成候ニ付右之趣

一 改易御免之願

元小十人組
曽我十左衛門

右者儀一類共及困窮常々不宜
候而不仕置相改不埒之至ニ付改易
被仰付候由ニ而 依願元文五申年三月
十日改易中付出願此度御赦御免之願
仕候

是者御赦ニ難成者ニ御座候

寛延四未年六月
付札
右者此度赦帳ニ附申候
東叡山
東叡山

寛延四未年六月
付札
右者此度赦帳ニ附申候
東叡山
東叡山

今高家女元姫

小普請
菅沼源三郎

一 改易赦免之類

右者父当書継候後藤家来菅原
源蔵義渡込候ニ付及殺害橋ニ入語り
味噌之者名付大手御門へ入し様御下
札差之儀渡シ候ニ付右之趣相違無之候
当書義病死ニ付当者義殺害
下手人申付 御役寛延二巳年七月
三日改易中ニ付右者義渡赦免致候
是者渡赦之雖成者ニ候ニ付

寛延四未年六月
右者
右之通度赦帳ニ所申
東風
東風

濱川橋廐吉之組

小普請
鈴木運八郎

一 致島流罪之事

此者儀小普請深原平右衛門惣領ニ而
私組之相続不致浪人山田彌右衛門
中者之縁を以若輩鄕并芳屋
次男ニ而元据江縁組不相成居平右衛門芳孝
門元江罷越合山田彌右衛門と門合ニ
罷成深原良次郎與文之致縁組并等
前後不都合之義有之平右衛門不行跡并
元誂江参候芳屋方へ浪人橋本兵右衛門
中者とも立合候處中越江罷元誂江
義者悉右衛門方へ當行衛知不親類之

不似合仕形不埒ニ付改易申付置候処
御後延享二丑年三月七日改易中ニ付候処
此度御赦免被仰付候
是者御赦ニ難成者ニ候処

延享五辰年四月
寛延四未年六月
此度
右之度赦帳ニ附申候

坂部
本慶
本慶

一 追放御免之事

建部民部少輔組之小普請
上村文助

此者儀高山安兵衛又死罪ニ茂
義浪人二文友治方へ高山安兵衛
入用之由借り金子借り出候證文人ニ相立候
借り主者三郎同然ニ而欠落安兵衛欠落入

用ニ而罷出之儀有之候得ハ少々貸呉候様
存候事ニ而甚三郎と申合相巧候而者
罷出候處右儀之義少々存候人ニ相成候
段不届ニ付中追放可申付旨ニ而
御仕置享保十七子年十月二日中追放
申付候処此度御赦免被仕候
是者御赦ニ難成者ニ候得共

右之儀十九日[illegible]十一月　増上
元文三午年十一月　増上
同　五申年　十月　東叡山
此度　右同断赦帳ニ預申候　東叡山

浅草旅籠町鶴八店
市左衛門方ニ居候
元六事

一江戸構御免之赦
赦帳ニ八郎兵衛様御免所[illegible]
衛八郎兵衛方ニ居候
不及申上候
八郎兵衛
此者儀新吉原江戸町壱丁目二居又三郎

国立国会図書館　タイトル『赦帳』 請求記号 813-1
ガラス使用

抱主女湯帯ニ差越来り出合庖丁を
府奉行所取押候処理不尽之仕形ニ付当清帯
府被召捕年強所奉行寛延巳未年又
十二日江戸拂中付候所後免湯赦免
願仕候

是者湯赦ニ難成者ニ候処

此度御赦帳面申付候

一 江戸拂後免ニ願 年十七

西紺屋町家主藤店
又兵衛方ニ居候

赦帳ニハ[illegible]
[illegible]
[illegible]

此者義本町壱丁目侍屋敷之
者ニ候而養子先年養子
実父義八年七切年之居来罪

国立国会図書館　タイトル『赦帳』　請求記号 813-1
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『赦帳』　請求記号 813-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『赦帳』　請求記号 813-1

ガラス使用

還右止ヲ出屯中ニ付候処被世之罪名不
相見候ニ付道中筋ニ而上京之者情願申出候
得不念ニ付延享五辰年五月十九日
江戸構申付置候処此度御赦免被
仰付候

是者御赦ニ難成者ニ御座候

此度御赦帳ニ附申候

但右者御仕置申渡所

藤屋清右衛門伜

孫七

一 追放御免之処

此者義朝鮮人来朝之節御領分
御宿請負仕候処御家来之代
高木金右衛門組中者廻文義不記候

国立国会図書館　タイトル『赦帳』　請求記号 813-1

ガラス使用

今年代物差上ヶ候之儀雑物合兼致
候難儀之旨掠いたし候段不届ニ付
重追放可申付旨被仰渡寛延
元辰年十二月廿七日重追放申付候
而此度御赦免願仕候

是者御赦ニ難成者ニ候ニ付

寛延三午年四月　東叡山
同　同未年六月　東叡山
伺済　右之度赦帳ニ附申候　東叡山

田中一学書上

一 追放御免之願　　田中左衛

此者養父一学儀御勘定坂本嘉兵衛
支配坂本今十郎殿勤役中之儀書
御勘定所江勤役ニ付相遣之儀相伺候処

国立国会図書館　タイトル『赦帳』　請求記号 813-1

ガラス使用

一 嶋流免之儀

赦帳ニハ元表番医師と有之候

元御番医師
岩井芳庵悴
岩井純庵

此者儀芳庵方ニ養子ニ成候處ハ初ゟ
之一向不和ニ而此節ニ此場山田帰出奔いたし
浪人之内貞庵娘を此者妻ニいたし
小普請清水平右衛門方ニ養子ニ遣候儀
芳庵并平右衛門相對ニ而家督ニ而申掠
公儀候此段不埒ニ付遠嶋可申付旨被
仰渡、延享二巳年八月十九日八丈嶋ニ
流罪被申付候此度御赦免被仰付候

但赦帳ニハ流罪此後書掛ケ有之候

是者御赦ニ難成者ニ有之候

国立国会図書館　タイトル『赦帳』 請求記号 813-1
ガラス使用

寛延三午年四月
此度
右之者赦帳ニ附ル
本多殿山
本多殿山

一 御役御免之儀
赦帳ニハ三月弐記
差切不之候之候

高力権七郎知行所
下総国海上郡三川村
元百姓
文九郎
吉兵衛

此者共儀此所之年賦返済令百姓
共ニ不相成候并年貢之義未元立而已
同村名主百姓共ニ相成之致箱訴并ニ
中務大輔殿ニ差出箱ニ附右之通
訴状差出候ニ付年賦之儀取
立可申候度之出候之候而取
諸帳面小百姓共ニ見せ不申候御触書

出候得見届不申所出候得不孔窮候
段不届ニ付遠島之上田畑家財上り置候段
被仰付置候旨ニ而　御代官大久保二成年
十二月十二日田畑家財上り置候段赦申付候
右此度御赦免被仰付候
是者御赦ニ難成者ニ御座候

此度初而赦帳ニ記申候

大久保治郎右衛門組
小普請
高橋兵八郎

一　改易御免願

赦帳ニハ御目見以下
大久保治郎右衛門
組ニ御座候

此者儀元御代官今九郎所ニ手代
林條件先年追放ニ被仰付候処
御構地ニ立帰此者方ニ罷在

下谷呉竹町家主与兵衛を切殺致自
滅候追放者とも相尋候所向後不届
之者ニ付致易之中付置候 然處享保
二酉年十月右之通致易中付置候 此度
御赦先乾仕候

是者御赦之難成者ニ付除候

享保五子年十月
東殿ニ

此度
右兵庫殿赦帳ニ附申候
東殿ニ

一 追放御免之儀

元御勘定坂本喜左衛門悴
坂本勝之丞

寅正月大岡越前守紀仕候

此者父喜左衛門儀坂本今十郎ニ而
御奉行所扱遠之儀有之ニ付十郎右衛門ニ

養子ニ元組之部茂合十郎ニ讓渡ニ付
罷渡人田川十左衛門を致実父ニ母方之
讓有之者儀元掛者子ニ成候武家
相續出候様 公儀ニ而仕置之上之處
ニ付遠藤ニ而 御仕付此者儀縁父之科
中追放可申付旨ニ而候處宝暦二申年
二月廿五日中追放申渡御年寄親類ニ

引渡出候此度御赦免願仕候
是者御赦ニ難成者ニ付死候

此度御赦帳ニ付十候

都合六拾弐人

内

一 遠島御免之者 拾七人
一 追放御免之者 弐拾弐人
一 江戸払御免之者 拾人
一 江戸構御免之者 壱人
一 所払御免之者 三人
一 改易御免之者 六人
一 帰役御免之者 弐人
一 地面引上並免者 壱人

以上

酉 十二月

依田和泉守

国立国会図書館　タイトル『赦帳』 請求記号 813-1
ガラス使用

寶暦三年

申六月於東叡山御法事ニ付赦帳ニ附ル内

弘

右出家人別科書

え山田作左衛門掛り

酉十二月

依田和泉守

大御番酒井越中守組
元組頭
遠江作左衛門

一　死罪

此者儀大御番有馬備後守組関内記
与頭之節酒井越中守無筆御見合ニ而
由承知与存候而書遣之儀申達

此度義ニ而御仏参ニ付寛保元酉年
七月廿一日御赦行之節　右赦ニ付此度之節
右赦之節下置候得共赦免申候

延享元辰年四月　増上寺
寛延三午年四月　東叡山
同　四未年　六月　東叡山
此度　東叡山
右四度赦帳ニ而所申候

元御金奉行
蘭部又右衛門悴
蘭部又五郎

一　右赦免
此者父蘭部又右衛門儀御金紛失
済候一件ニ付元文五申年十月五日
揚り屋ニ入候処遠島ニ付同年十二月

国立国会図書館　タイトル『赦帳』 請求記号 813-1
ガラス使用

去七日親類ニ預ケ置候処病死仕候ニ付右
御咎未中ニ病死仕候者故御披拘ニ
而上申候得共悴又三郎儀ニ 右之段
立置候様申渡申候

寛延二年巳年七月　東之殿
同　巳未年　六月　東之殿
付箋　東之殿
右之段赦帳ニ附申候

御合薬元同心
野門武助悴
野門大助

一 弐 右之者
此者父野門武助儀御合薬元之職年
悴義老人之処病死御国之御門外
曽木指海庵從鉄ヶ預ケ合宮年頃

国立国会図書館　タイトル『赦帳』　請求記号 813-1

ガラス使用

一 私　旦那寺

元赤坂町 真田小源太忰
真田富太郎

此者父真田小源太儀、寛政元年ニ付
毋離相煩候ニ付、自分店ニ引取、看病仕居
候処、離相煩候段、赦免願、三年より 住居
兼而心得不束之筋有之、引取申候中ニ而赦免

右之者共之相尋候処、未居所居候ニ付
寛保二戌年九月十二日赦免被仰付 住居候
延享三寅年御法事之節、赦免ニ被仰
依願之私 住居仕 此度真田富太郎儀
私

旦那寺ニ下通ニ相頼赦免申中上

寛延三午年四月　東叡山
同 巳年 十月　東叡山
此度
右之者度赦帳ニ附ル　東叡山

国立国会図書館　タイトル『赦帳』請求記号 813-1
ガラス使用

竹中図書頭支配
元小普請
本郷庄八郎悴
本郷庄蔵

一　私[illegible]儀
附若父本郷庄八郎儀田中元右衛門妻子
召連致出奔小組庄八郎宅ニ元右衛門妻子
共引取置候ニ付元右衛門父大御番水野出羽守
組今泉戸田半三郎方ニ而中達之後宗五郎
中小普請支配云ニ而罷越見相違之儀申ニ付
御目付安藤五平次稲垣清左衛門
御吟味之節元右衛門別相等を以返答
屋云也中小普請ニ而庄八郎御請致
候共自分ニ而も有之候得者中小普請延享

二巳年八月十六日改易ニ付　伊賀山城守殿
悴広蔵儀ニ付　右御ニ付下置御振相赦中ニ

寛延三午年四月　東叡山
同　四未年　六月　東叡山
付度　東叡山
右三度赦帳ニ記ス中ニ

以上

酉十二月

堀田和泉守

寳暦三年

中六月於東叡山御法事ニ付赦帳附同

人別科書

酉
十二月

町奉行

一　[illegible]之部

御目見以上一代組頭

小普請荒木善蔵養子

御[illegible]事以上一代

小普請荒木十郎

右荒木善蔵實子

小普請冨之助

此者相先父小普請荒木善蔵儀年来御目見

国立国会図書館　　タイトル『赦帳』　請求記号 813-1

ガラス使用

是者御赦難成者ニ御座候

延享五辰年四月　増上寺
寛延二巳年四月　東叡山
同四未年六月　東叡山
此度　東叡山
右四度赦帳ニ有之

一　遠嶋御免之願

御普請方元〆代改役
山口半四郎倅
山口豹吉

此者父山口半四郎儀年来御普請
溜普請以之組頭勤中合代金取分
元之御普請剰手前賃を前金貸入り

国立国会図書館　タイトル『赦帳』　請求記号 813-1

ガラス使用

右之通報候事

以上

十二月

町奉行

国立国会図書館　タイトル『赦帳』 請求記号 813-1

ガラス使用

813
109
1

国立国会図書館　　タイトル『赦帳』　請求記号 813-1

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『赦帳』　請求記号 813-1

ガラス使用

813
1

国立国会図書館　　タイトル『赦帳』　請求記号 813-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『赦帳』請求記号 813-1

ガラス使用